



市長からの手紙



拝啓 秋の音が聞こえる美しい季節が到来しましたが、皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

さて、今年も9月28日から10月27日まで「朝霞のお店を応援！PayPay15%還元キャンペーン」を実施しています。物価高騰の影響を受ける市内の事業者を支援し、地域経済を活性化するための取り組みです。皆さまにも朝霞のお店を応援していただければと存じます。

そして、季節は「スポーツの秋」。市では、10月11日に、地域の親睦と健康増進を図るスポーツの祭典「あさかスポーツフェスティバル」を開催します。昨年度までは「朝霞市民スポーツ大会」として地区対抗種目を実施しておりましたが、今年度より名称を改めるとともに、地区対抗種目の実施とさまざまなスポーツ・レクリエーションに親しんでいただく体験の機会を創出します。多くの皆さまのお越しをお待ちしております。（詳細は30ページ）

最後に、すでにご存じの方もいらっしゃると思いますが、2023年に作成された「くろめがわグリー

ントレイルマップ」のご案内です。くろめがわグリーントレイルマップは、朝霞の自然を身近に楽しんでもらうことを目的に、黒目川沿いの緑のスポットをつないで作成しています。マップは、朝霞市役所5階みどり公園課、保健センター、博物館、図書館（分館含む）、産業文化センターで配布しているほか、右のコードからダウンロードしていただけます。ウォーキング、ジョギング、そして散歩するには気持ちのいい季節です。6つのコースを用意しておりますので、マップ片手に朝霞の魅力に触れてみませんか。



深まりゆく秋、風邪など召されませぬようくれぐれもご自愛ください。

またお便りします。

敬具



朝霞市長 松下 昌代

10月は「里親月間」です

問／こども家庭課 ☎463-0364

里親制度を知っていますか？

里親制度は、さまざまな理由で自分の家庭で暮らせない子どもたちを、一時的または長期的に、里親が保護者に代わって家族の一員として迎え入れ、温かい愛情と家庭的な環境の中で養育する制度です。

子どもの成長は、家庭で暮らす時間や経験がとて大きな役割を担っています。保護を必要とする子どもたちが健やかに育つためには、里親家庭が増えていくことが社会的にも必要とされています。

里親の種類

養育里親

一定期間自分の家庭に迎え入れ養育する里親です。

専門里親

特に支援が必要な被虐待児などを養育する里親です。

養子縁組里親

将来的に子どもを実子とすることを希望する里親です。養子縁組が成立するまでの間、里親として子どもと一緒に生活します。

親族里親

実親が死亡、行方不明などの理由で、子どもの養育ができない場合に、実親に代わって親族が養育する里親です。

里親になるには

特別な資格は必要ありませんが、埼玉県が行う所定の研修を修了することなど、一定の要件があります。里親について知りたいことや、里親登録までの流れなど、朝霞児童相談所またはこども家庭課にお問い合わせいただくか、埼玉県または朝霞市ホームページをご確認ください。



朝霞市

埼玉県朝霞児童相談所

住所／青葉台1-10-63

☎465-4152



埼玉県

ひとの推移

世帯数	72,805世帯 (+65世帯)	人口	146,958人 (+90人)	《5,722人》
令和8年9月1日現在	() 内は前月比	男	73,901人 (+58人)	《3,036人》
	《 》 内は外国人	女	73,057人 (+32人)	《2,686人》